

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施 設 名 山梨県立やまなしパラスポーツセンター
 所 管 課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課
 指定管理者 株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

1 指定管理者の推移

導入年度	令和6年度			
指定管理者名	出資法人	指定期間		委託料総額 (単位:円)
株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ		R7.3.1	～ R9.3.31 2年1ヶ月	92,559,000

2 施設の概要

所 在 地	甲府市川田町517
設 置 年 月 日	令和7年3月1日
設 置 根 拠 (法 律 、 条 例 等)	山梨県立やまなしパラスポーツセンター設置及び管理条例
設 置 目 的	パラスポーツ(障害の有無にかかわらず取り組むことができるスポーツをいう。)に取り組む機会と場を提供することにより、障害者の生きがいの創出及び社会参加の促進を図り、あわせてパラスポーツに対する県民の理解を促進し、もって共生社会の実現に資することを目的とする。
主 な 業 務 の 内 容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)パラスポーツに関する催し及び講座の実施に関する業務 (4)パラスポーツに関する情報の収集及び提供に関する業務 (5)パラスポーツに関する相談に関する業務
主 な 施 設 内 容 (定 員 等)	敷地面積 5,103㎡ 建築面積 1,766.4㎡ 建築延床面積 1,720.8㎡ 建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上1階建て 1階:体育館(1,005.07㎡)、多目的室(66.17㎡)、 事務室・救護室(34.56㎡)、事務室(20.96㎡)、 だれでもトイレ(7.54㎡)、屋外倉庫(16.20㎡)、 男子トイレ(47.93㎡)、女子トイレ(43.29㎡)、 男子ロッカー室(60.79㎡)、 女子ロッカー室(60.81㎡)、 男子・女子シャワー室(各23.66㎡)、 北・南倉庫(各28.9㎡)、東倉庫(23.46㎡) 電気室(14.03㎡)、機械室(36.25㎡) 駐車場 52台 冷暖房設備付
備 考 (改築工事等の状況、 一括管理施設 等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計					4,207,804	令和7年3月開設のため 令和5年度までの実績なし
支出合計					4,238,640	
収支差額					△ 30,836	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用実績					553人	令和7年開設のため5 年度までの実績なし
利用者 満足度					◎	「満足」又は「どちらかとい えば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和6年度)

令和6年度3月に開館したやまなしパラスポーツセンターにおいては、「施設の認知拡大」及び「誰もが利用しやすい環境の整備」に向け、着実な取組を行った。

まず、施設の認知向上を目的としたオープニングイベントでは、173名が来場し、障害の有無にかかわらず多くの方がエキシビジョンマッチやパラスポーツ体験を通じて交流を深めた。また、ヴァンフォーレ甲府の試合会場での広報活動やホームページ等を通じて積極的な情報発信を行った。

施設の安全・衛生面についても、基本協定書及び事業計画書に基づき、専門業者による法定点検と職員による定期点検を実施し、その結果を県に報告した。清掃業務も毎日実施し、快適かつ清潔な施設環境の維持に努めた。

施設の利用に関しては、44件の貸館受付を行い、合計320名が施設を利用し、そのうち障害を有する方の利用は約3割、一般利用が約7割だった。今年度の運営目標である750人の利用には達成できなかったが、今後施設認知の進展等によって、障害者の利用の増加を見込まれることから、引き続き、広報の強化や利用者サービスの向上に努める。

なお、今年度は公式SNSアカウントの運用開始が間に合わなかったため、代替としてヴァンフォーレ甲府の公式SNSを活用し、講座やイベント情報の発信を行った。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

業務計画書に基づいた業務が適切に実施されており、利用者の満足度も高い評価を得ていることは評価できる。引き続き、利用者の要望を把握しつつ、安全な施設利用の促進と施設の適切な維持管理に努めること。

一方、施設の利用状況については、目標値に達していないことから、利用者サービスの充実に努めるとともに、公式アカウント等の広報手段を積極的に活用し、利用者の確保につなげること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

今後も業務計画書に基づいた業務を適切に実施し、利用者の皆様から高い評価を得られるよう、継続して取り組んでいく。また、利用者の要望を丁寧に把握しながら、安全な施設利用の促進と施設の維持管理に努めていく。

施設の利用状況が目標値に達していない点については、利用者サービスのさらなる充実に努めるとともに、公式アカウントを積極的に活用し、施設の認知度向上と利用者の確保に努めていく。また、公式アカウント以外にも、パンフレットの作成やSNSを活用し、やまなしパラスポーツセンターの周知及び利用者増加に向け、準備を進めていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施 設 名 山梨県立やまなしパラスポーツセンター

所 管 課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課

指定管理者 株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	講座・イベント等参加者					188
	貸館利用者					320
	その他来館者(見学など)					45
	利用者数合計					553
	目標値					750
	実績/目標割合					73.7%
	目標値の設定方法	申請時に設定した17,000人の年間利用者目標をもとに設定。 施設管理開始初月ということもあり、イベントや貸館利用がまだ少ないことを想定し、17,000人÷12ヶ月の約半数750人の利用者を目標とした。				
利用率	稼働率等(利用率)					88.0%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用日数(R6:22日)÷営業日数(R6:25日)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)緑が丘スポーツ公園
----------	--------------

3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

--

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
2	随意契約	売上15%	6,048	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計					4,207,804
	施設利用料					22,280
	指定管理委託料					4,179,476
	自動販売機収入					6,048
支 出	B 支出額計					4,238,640
	人件費					1,225,323
	光熱水費(電気料を除く)					325,748
	光熱水費(電気料分)					103,476
	報償費					581,735
	旅費					22,100
	消耗品費					323,081
	印刷製本費					196,900
	広告料					28,100
	手数料					233
	保険料					5,717
	使用料及び賃借料					484,172
	備品購入費					125,026
	事務費予備費					9,157
	外部委託費					807,872
	清掃業務委託					672,551
	駐車場警備委託					41,800
	コーチ派遣委託					93,521
	外部委託比率					19.1%
	県への納付金					
収 支 差 額 (A - B)						△ 30,836

一人当たり指定管理者委託料 *					7,557.8
-----------------	--	--	--	--	---------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計					160
D 支出額計					49,800
収 支 差 額 (C - D)					△ 49,640

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	みんなのアトリエ	就労支援所 就労者	ロビー
2	わくワ〜ク	就労支援所 就労者	ロビー
3			
4			
5			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	利用者アンケート (1)実施時期: 令和7年3月 (2)実施方法: ①: 来場者アンケート調査 ②: 企画事業参加者アンケート調査 (3)回答者数: 計116人 ①17人(回収率:82%) ②99人(回収率:94%)			
	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満
施設整備	93.0%			7.0%
スタッフ対応	100.0%			
アクセス	79.0%	14.0%	7.0%	
清潔さ	93.0%	7.0%		
利用料金	100.0%			
イベント満足度	100.0%			
施設全般の満足度	95.0%	3.0%	2.0%	
利用者の 主な意見	・トイレや床が滑りにくく、安全性が高い点に感謝している。 ・用具が充実しており、多様なスポーツに親しむことができる。 ・冷水器の設置により無料で水分補給が可能であり、また利用料金も安価なため、非常に利用しやすい。 ・空調・冷暖房が完備されており、季節を問わず快適に利用できる。 ・施設全体が清潔でフラットな設計となっており、バリアフリー対応が徹底されているため、車いす利用者にも優しい。 ・スタッフの対応が丁寧・親切であり、安心感を持って利用できる。 ・今後、食事ができるスペースやカフェの設置があると、より利便性が高まる。 ・コーチングサービスや送迎サービスの導入があると、さらに利用の幅が広がると期待される。			
利用者の意見 への対応	・利用者の皆さまからのご意見を踏まえ、今後も安全性と快適性を重視した施設環境の維持に努める。 ・より多様なコーチングサービスなどのニーズに応えるため、施設利用者との対話を重ね、コーチングサービスはどのようなものが求められるのかより具体的なニーズ把握に努め、ニーズに合った対応ができるよう、体制を構築していく。 ・送迎サービスについては、徐々にはじめていっているのでこちらも本質的なニーズを把握し、持続可能なサービスとして体制を構築していく。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	利用者の快適な利用を目的とし、通常開館日は全日清掃業務を実施、また、利用上の安全性、衛生面も考慮し、行政の求める点検、測定を実施した。 車いす利用者が多いため、体育館床の汚れやタイヤ痕の清掃に苦慮することがあったが、体育館床の維持に関しては、施設職員及び利用者の協力のもと、良好な状態に保つ努力を行っている。	業務報告書の結果、適正に維持管理されている。 引き続き、各種法令点検・職員による施設点検を適切に実施するとともに、利用者が安心・安全に利用できるよう施設の維持管理に努めること。
運営業務	利用促進に関しては、サッカークラブの強みを生かし、ホームゲーム、新聞、SNSを活用し、幅広く告知を行った。 オープニングイベントにおいて、ヴァンフォーレ甲府選手、県内パラアスリート、元サッカー日本代表の北澤氏などをゲストに招き、多くのメディアに取り上げられるインパクトのあるイベントが実施できた。 多くの方の快適な利用のため、今後様々な調整が必要であると感じた。	利用者向上のため、施設の空き状況をWEBで確認できるようにし、SNSでタイムリーな空き状況を掲載していることは評価できる。 運営者の強みを活かしたイベントでは、障害者と健常者が共に尊重し合うことができた。 メディアへの告知を通じて施設の周知を図っていることは評価できる。 施設利用の規定に基づき運営していくとともに、多くの方に利用してもらえるよう、利用ルールの整備に努めること。
利用状況	目標の利用者数には達することが出来なかったが、初月から想定以上の団体利用、および問い合わせがあった。特に障害者団体の快適な利用に関しては、他の施設より利便性の高さを感じていただけたと思う。 また一般の利用に関しても、実際の利用、問い合わせも含め、次月以降多くの利用が見込めると感じている。 催し及び講座に関しては、告知及び参加者募集に非常に苦労した。もともと、スポーツ団体に所属していない障害者の方をパラスポーツ体験の場に参加していただくことの難しさを感じた。	目標の達成に向けて更なる周知に努めること。 健常者と障害者との同時利用の際の安全確保に最大限努めること。 障害者団体や特別支援学校を中心に、パラスポーツに参加できる環境整備に努めること。
収支状況	わずかにマイナスとなったが、1か月単月の収支としては、想定通りの収支であった。 光熱費に関して、施設の冷暖房がガス利用のため、寒い時期、暑い時期は、想定以上のガス料金が今後も予想される。 利用料金収入に関しては、多くの障害者および障害者団体に利用をいただいているため、減免額が多い状況であるため、利用料金収入に関しては今後も想定を下回ることが予想される。ただし人件費やその他費用も含め、十分にカバーできる運用ができている状況である。	引き続き、規定どおり運営を行い、障害者利用の減免を行いつつ、一般利用者を確保しマイナス収支にならないよう努めること。 開設して1か月の実施ではあるが、運営者の強みを活かしたことは評価できる。 今後生じる課題については、引き続き県に報告、連絡、相談を徹底すること。
自主事業	障害者の制作した、絵画やアクセサリなどの制作物の展示、および制作物の販売を実施した。	障害者の活動の様子や作品を展示販売することは、新たな生きがいや共生社会の実現に貢献できることから、今後も継続するとともに、内容の充実を図ること。
利用者満足度	18組の利用者にアンケートを実施。施設設備、料金など多くの点において高い評価が得られた。 記述欄にカフェ・食堂の設置という要望が多く寄せられた。障害者、特に車いすの方は、施設外で食事をとることが困難な場合があり、食事場所の提供については課題があると感じた。	施設を適切に管理し清潔に保たれており利用者から高く評価を得られていることは評価できる。 引き続き、利用者が快適に施設を利用できるように高いサービスの提供に努めること。 今後も利用者のニーズを的確に把握し、より一層の利用者の満足度向上に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

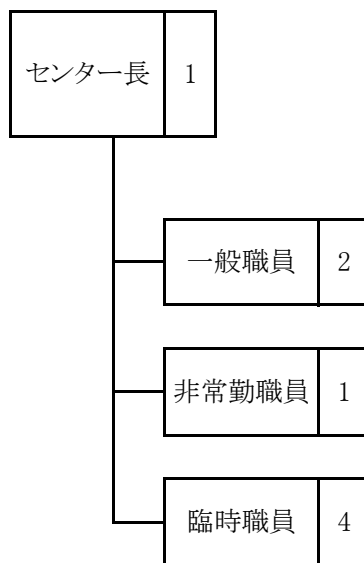
9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設の利用 促進業務	「スポーツを通じた共生社会の実現～受け入れ・支え合い・認め合う 幸福が実感できる場～」の実現に向けて、①安全、安心な施設運営 ②「パラスポーツ」の普及につながる拠点づくり ③障害の有無、年齢、性別に関わらない共生社会 ④施設運営の最適化 ⑤多種多様な主体との効果的な連携 ⑥ヴァンフォーレ甲府の強みである情報発信力のフル活用の6つの運営方針に基づき、「多様な主体と連携して、『共生社会のシンボル』となる施設」の運営目標のもと評価をした。 1.施設利用者数 (イベント・講座・交流等の参加者人数) 目標:750人/533人(未達成) 目標には届かなかったが、オープンイベント以降も一定人数の利用者の確保ができた。今後より一層の利用者の確保のために施設の周知が課題である。 2.施設利用者満足度 目標:80%以上(満足・どちらかといえ ば満足) アンケート結果:98%(満足・どちらか といえれば満足) 目標を達成することができた。今後、利用者が増えても、更なる満足度の向上につながるよう、施設の衛生管理や利用者の要望把握に努めていく。	施設利用者数については、障害者福祉団体との連携を図り、運営者の強みを活かした情報発信力でHPやSNSを活用し多くの方の目に止まるよう努めること。年間13回のイベントや22回の教室、計35回の事業を通じて多くの方が参加でき、障害者と健常者が交流できる企画運営に努める。 引き続き、施設の衛生管理や安全管理を継続し、利用者の満足度を高めていくこと。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在



施設長(事務局長)	1 人
一般職員	2 人
非常勤職員	1 人
臨時職員	4 人
合計	8 人